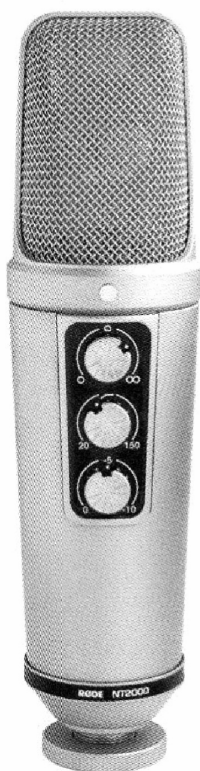


RØDE[®]
MICROPHONES



NT2000



USER'S MANUAL
-取扱説明書-



株式会社 サウンドハウス

〒286-0044 千葉県成田市不動ヶ岡1958

TEL:0476(22)9333 FAX:0476(22)9334

<http://www.soundhouse.co.jp> shop@soundhouse.co.jp

はじめに

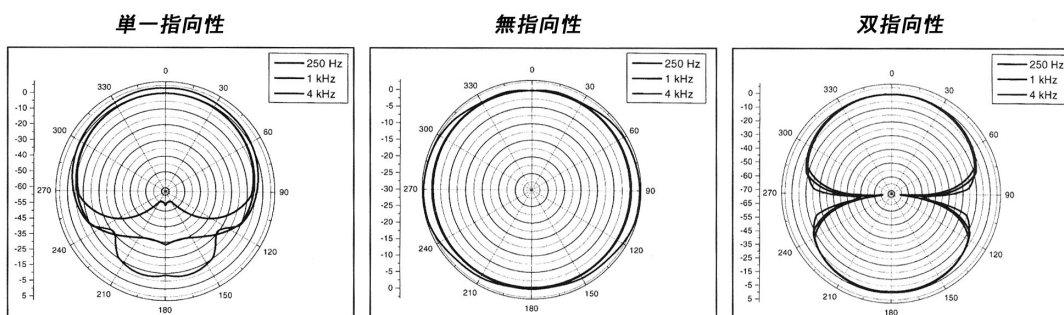
この度は RODE NT2000 をお買い上げいただき、誠に有難うございます。製品の性能をフルに活用し、未永くお使いいただくために、ご使用になる前にこの取扱説明書を必ずお読みください。尚、本書が保証書となりますので、お読みになった後は大切に保管してください。

主な仕様

タイプ	: 25mm デュアル・ダイヤフラム
指向性	: マルチパターン (下図参照)
周波数特性	: 20Hz ~ 20kHz
出力インピーダンス	: 200
S/N 比	: 84dB (per IEC651、IEC268-15)
等価ノイズ	: 7 dBA SPL (per IEC651、IEC268-15)
最大出力	: +15dBu (@1% THD into 1k)
最大 SPL	: 147dB (@1% THD into 1k)、 パッド起動時 157dB (@1%THD into 1k)
感度	: - 36dB re 1 Volt/Pascal (16mV@94dB SPL) +/- 2dB
ダイナミックレンジ	: 136dB (per IEC651、IEC268-15)
電気系統	: 双指向性出力バッファ付 JFET インピーダンスコンバーター
電源	: ファンタム電源 48V、24V
サイズ・重量	: 5.7 (直径) × 23.2 (全長) cm、831g
付属品	: サスペンションホルダー SM2、ハードケース

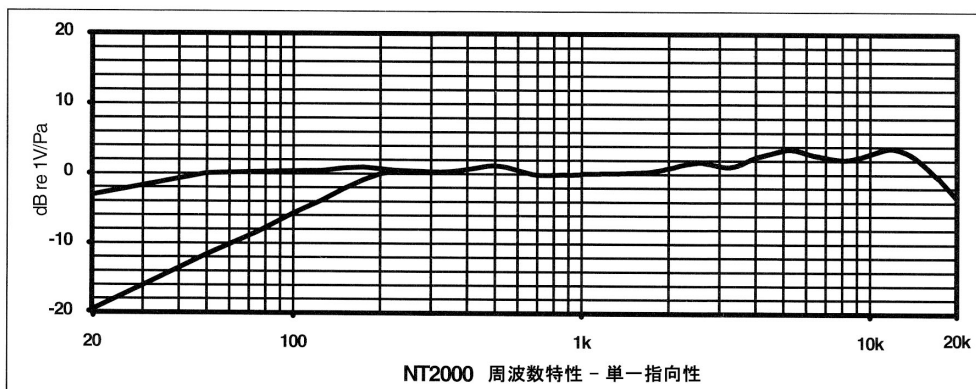
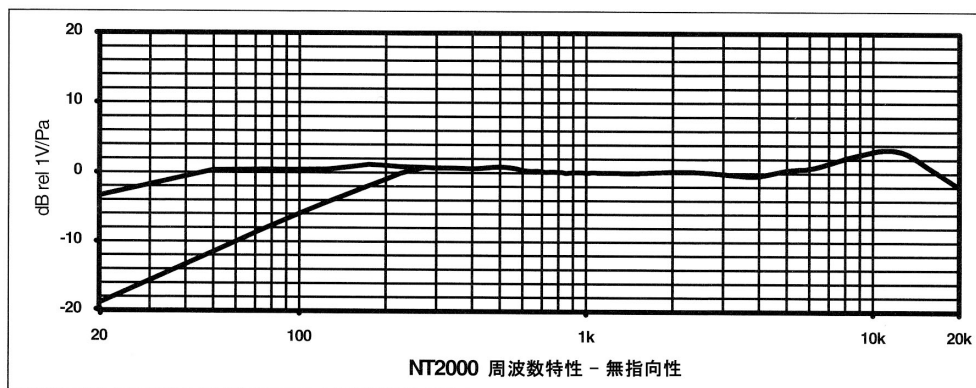
指向性

Polar Responses



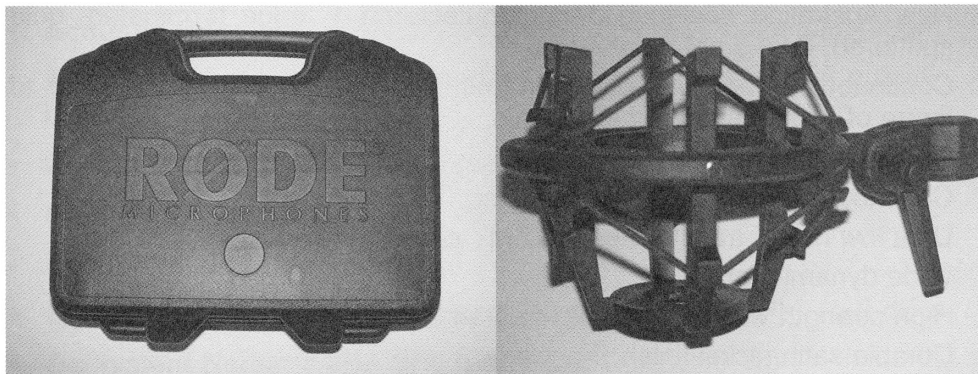
周波数特性

- デュアル 5 μ M ダイアフラム、ゴールド・スパッタ加工
- 無指向性、単一指向性、双指向性に可変コントロール可能
- パッド（可変コントロール可能）
- ハイ・パス・フィルター（可変コントロール可能）
- 超低ノイズ・トランスレス SMT 回路
- 広範囲にわたるダイナミックレンジ
- スチール製グリル
- 頑丈なサテンニッケルフィニッシュ
- 内部ショックマウント仕様
- SM2 ショックマウントおよび RC1 専用ケース付属



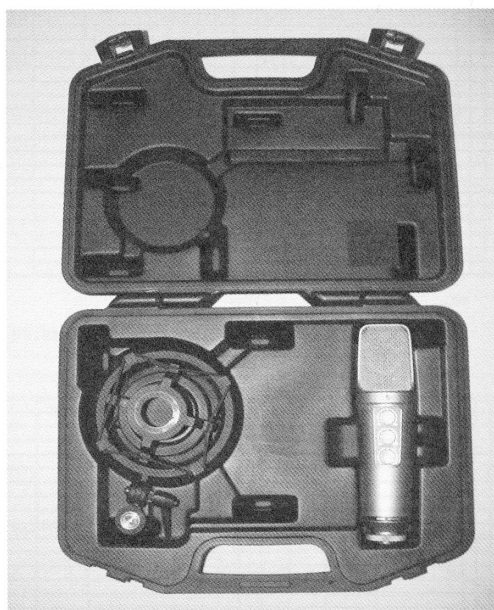
付属品

Accessories:



RC1 キャリングケース

SM2 ショックマウント



NT2000 のセッティング方法

1. NT2000 をショックマウント SM2 に固定してください (PHOTO1)。SM2 はマイクスタンドのブームにしっかりと固定します。マイクケーブルの XLR 端子を NT2000 に接続してください (PHOTO2)。



2. ケーブルは高品質な金メッキコネクタのものを使用されることをお勧めします。長いケーブルはノイズの原因となるため、出来るだけ短いケーブルをご使用ください。
 3. NT2000 には正面を示す金色のドットがついています。NT2000 では極性、ハイ・パス・フィルター、パッド設定が自由に操作できます。
 4. 一番上のダイヤルで極性を設定してください。ボーカル録音でもっとも一般的な極性は単一指向性 (CARDIOID) です。その場合センターの位置にダイヤルを設定してください。単一指向性に設定された場合、マイクが收音するのは正面からの音だけで、背面からの音は排除されます。
 5. 無指向性 (OMNI) に設定した場合 (ダイヤルを一番左回りに設定)、マイクは 360 度まんべんなく收音します。無指向性では近接効果 (音源がマイクに近づくと、低域が目立つこと) があまりなくなります。ルーム・マイキングや、楽器を近接録音する際により自然な音を録りたい場合、無指向性を選択してください。
 6. 双指向性 (FIGURE OF EIGHT) に設定した場合 (ダイヤルを一番右回りに設定)、マイクの前後から聴こえてくる音源が收音され、左右の音は排除されます。2 人が一つのマイクを囲むインタビューや、単一指向性マイクをもう一本使用し、M-S ステレオ録音を行う際に双指向性を選択します。
 7. 単一指向性、無指向性、双指向性の間のどの位置にも極性を設定できます。例えば無指向性と単一指向性のちょうど中間にダイヤルをセットしてみてください。マイク背面からの音が完全に排除されず、少しだけ拾われていることが分かるはずです。一般の単一指向より背面の音源を拾いたい場合に便利な機能です。
 8. 様々な指向性、パッド、フィルターの設定を試し、ベストなサウンドを探し出してください。コントロール設定を行ってから数秒待つと、各設定の違いがはっきり聴こえるようになります。
- 3 種類のコントロールをどの設定にしてもマイクが損傷を受けることはありません。自由に設定を行ってください。

パッド

パッドによって、マイク内蔵プリアンプに入力される信号レベルを下げる事が可能です。パッドは NT2000 の 3 番目のダイヤルで調整してください。ダイヤルが一番左に設定されている場合、録音された信号レベルがそのままプリアンプに入力されます。一番右に設定されている場合、オリジナルより 10dB カットされた信号がプリアンプに入力されます。ダイヤルは 0~10dB のどの位置にも設定可能です。(例: -3dB に設定した場合、信号レベルが 50% カットされます)。ドラムやアンプなど音圧レベルの高い音源を近接録音する際に、パッドを使用すればマイクプリアンプをオーバーロードさせないで済みます。

ハイ・パス・フィルター

NT2000 の 2 番目のダイヤルは低域をコントロールします。

指定する低域およびそれ以下の周波数特性をカットすることから、ベース・カットとも呼ばれます。ダイヤルを一番左に設定すると、低域はカットされません。したがってオリジナルと同じ周波数特性が録音されます。

ダイヤルを一番右に設定すると、150Hz 以下の周波数特性が 3dB カットされます。このカットを行うことで、殆どの音源にはっきりとした音質の違いが現れます。3dB カットを始める周波数特性は 20Hz~150Hz に設定可能です。交通ノイズや床の振動など、不必要な低域をカットするようあらかじめ設定しておくことが可能です。ボーカルの特定の音域をカットすることも出来ます。

ハイ・パス・フィルターを上手に設定するには、音源を録音しながら、マイクが拾う音をよく聴く事です。例えばボーカル録音の場合、はじめにハイ・パス・フィルターコントロールを一番左に設定し、音質の変化を確認しながら徐々に右回りに回してください。音質に変化が生じてきたら、元通りの音質になるまでダイヤルを左回しに戻します。聴こえる音が原音と変わらない音質になったら、それが最適なハイ・パス・フィルター設定です。この作業が重要な理由は、NT2000 がカバー可能な周波数特性の幅広さにあります。NT2000 は 20Hz 以下の音声も収録します。これはパイプオルガンなど、非常に深い低域をもつ楽器の録音には好都合ですが、その他の場合、音楽と関係ない低音まで拾ってしまうリスクがあります。音楽と関係のない低音を録音してしまうと、録音機材の容量の大部分が無駄になり、音声に鮮明さがなくなるので注意が必要です。

設定メモ

本マニュアル末尾にコントロールパネルの図を掲載しています。レコーディング時に作成した設定を書き込めるようになっていました。特定のレコーディング設定を再現したり、同じ音質を再現したくなったときに非常に便利なメモです。

マイクの音質を決定する要素はたくさんあります。録音する部屋の音響環境は特に重要です。前回の録音と全く同じ音質を再現したい場合、全く同じ音響設定を行うよう心がけてください。

ボーカル



ボーカル録音には必ずポップガードを使用してください。サ行、タ行などの子音や濁点を含む破裂音では空気が激しく噴出される為、カプセルがオーバーロードして、ポップノイズを引き起こします。これはポップガードにより未然に防げます。またカプセルに水分が付着することも防げます。

マイクおよびポップガードの設置位置は、收音環境や音楽ジャンル、ボーカルのキャラクターによって変える必要があります。ベストな設置位置は試行錯誤して得られますが、まずは写真のように設置してみてください。

ボーカルがマイクに近づくと、近接効果が生まれます（低域が強くなります）。適切なマイク技術を応用すれば近接効果を有効利用することが出来ます。例えば小さな声の囁き等は、近接効果が素晴らしい効果を生みます。一方声量が大きなフレーズについてはボーカルとマイクの距離を十分に取ってください。ボーカル録音に表情を加えるためには、このテクニックが非常に有効です。

ピアノ



単一マイクで
録音する際の
マイクの設置位置

1本のマイクでピアノ録音を行う場合、上の写真のように、マイクをサウンドボードの中心から、約60cm上に設置してください。マイクカプセル部分は、ピアノの正面を向くようにして下さい。

2本のマイクでX/Yステレオ録音を行う場合、NT2000 2本をバーに設置し、互いに90°~110°の角度で向き合うようにして下さい。1本は下弦、もう1本は上弦に向かって設置してください。いずれも正面を意味する金色の点がピアノ側になるように設置します。

低域は左側のマイクで収録し、高域は右側のマイクで録音すると有効なステレオ・イメージが得られます。中域は録音された音響スペクトルの中心にくるよう設定してください。

ドラム



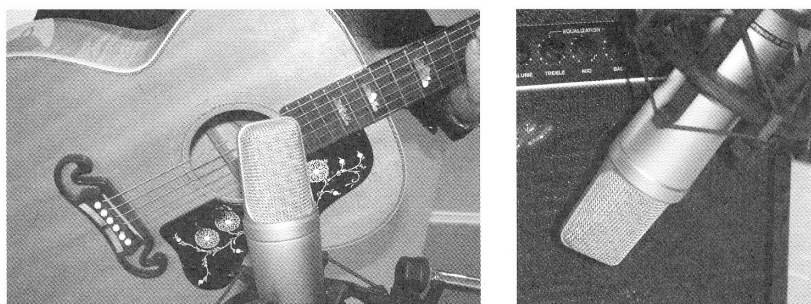
ドラムの録音方法には様々な種類があります(単一マイクのオーバーヘッド設置、マイク 2 本のオーバーヘッド設置 (X/Y もしくは間隔をとる)、各ドラム、シンバルごとに個別にマイクを使用して近接録音する方法)

1 本のマイクで録音する場合、ドラムキットの上中心にマイクカプセルを下向きにして設置してください。マイクを設置する高さはドラムキットの幅とほぼ同じにしてください。

マイク 2 本を使ってオーバーヘッド録音する場合、ドラムキットの上中心にマイクカプセルを下向きにして設置してください。マイクを設置する高さはドラムキットの幅とほぼ同じです。マイク同士はドラムキットの幅に応じて、1~2メートル離してください。スネアドラムとは、マイク 2 本ともほぼ等しい距離になるよう設置してください。

X/Y ステレオ技法を使って録音する場合、同スペックのマイク 2 本を使用します。ドラムキットの上中心にマイクカプセルを下向きにして設置してください。マイクを設置する高さはドラムキットの幅とほぼ同じにして下さい。マイク同士は 90~110° 傾けて互いを向き合うよう設置します。

アコースティックギター

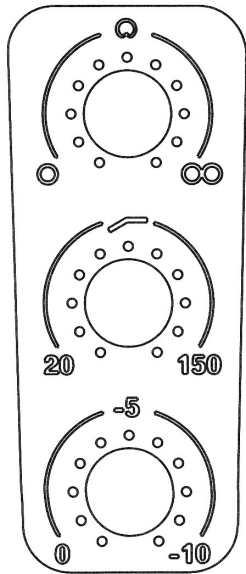


最も一般的なのは、マイク 1 本をギターの正面から 20～30cm 離して設置する方法です。マイクはネックとボディの接合点に向けます。マイクとギターの距離および設置位置については微調整が必要です。最適なレスポンスはギター、演奏方法、理想とするサウンドによって違ってきます。

注意事項

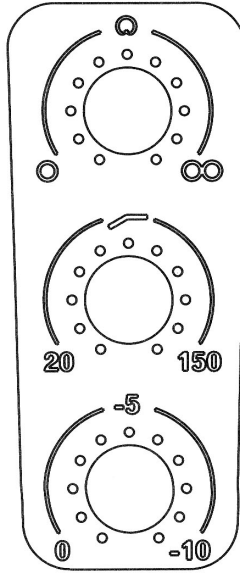
1. 他のコンデンサーマイクと同様に NT2000 も湿気には十分に気を付けて下さい。
2. NT2000 は精密なマイクである為、決して落とさないで下さい。使用後は清潔な布でマイクを拭き、付属のソフトバッグに除湿材を入れ保管してください。この除湿材は通常青色ですが、ピンク色に変色している場合は 100-150 度のオープンの中に入れて、青色になるまで熱することで再度除湿剤として使用可能です。
3. マイク内部のパーツはとてもデリケートなため、カプセルの周りのメッシュ・ケージは絶対に外さないでください。

設定メモ



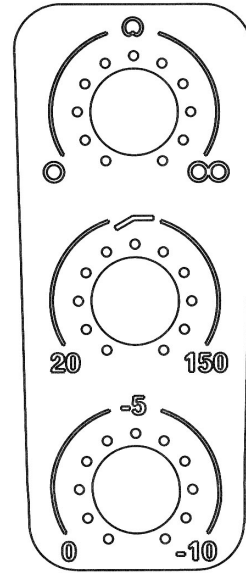
Title: _____

Date: _____



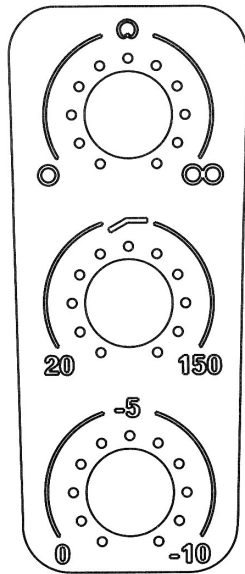
Title: _____

Date: _____



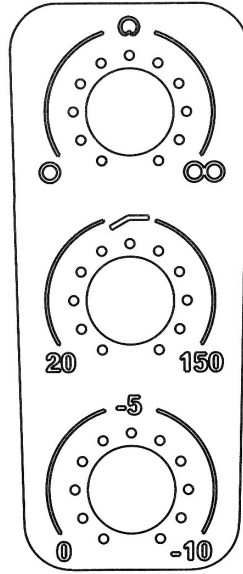
Title: _____

Date: _____



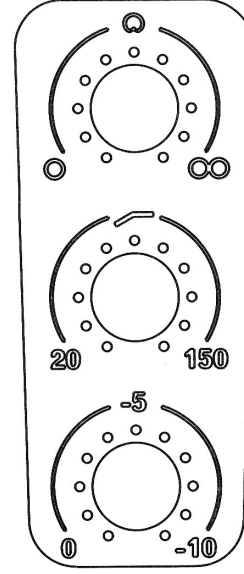
Title: _____

Date: _____



Title: _____

Date: _____



Title: _____

Date: _____

RØDE[®]

MICROPHONES



保証書

保証書

ご使用中に万一故障した場合、本保証書に記載された保証規定により無償修理申し上げます。

お買い上げ日より10年間有効

■保証規定

保証期間内（ご購入より10年間）において、取扱説明書・本体ラベルなどの注意書に基づき正常な使用方法で万一発生した故障については、無料で修理致します。保証期間内かどうかは、サウンドハウスからのご購入履歴により確認を行います。

但し、保証期間内でも、下記のいずれかに該当する場合は、本保証規定の対象外として、有償の修理と致します。

1. お取扱いが不適当（例：過大入力によるウーハー焼けなどの故障等）なために生じた故障の場合
2. サウンドハウス及びサウンドハウス指定のメーカーや代理店が提供するサービス店以外で修理された場合
3. 製品に対して何らかの改造が加えられた場合
4. 天災（火災、塩害、ガス害、地震、落雷、及び風水害等）による故障及び損傷の場合
5. 製品に何らかの理由で異物が付着、もしくは流入したことによる故障及び損傷とみなされた場合
6. 落下など、外部から衝撃を受けたことにより故障及び損傷がおきたとみなされた場合
7. 異常電圧や指定外仕様の電源を使用したことによる故障及び損傷とみなされた場合（例：発電機などの使用による異常電圧変動）
8. 消耗部品（電池、電球、ヒューズ、真空管、ベルト各種パーツ等）の交換が必要な場合
9. 通常のメンテナンスが必要とみなされた場合（例：スモークマシン等の目詰まり、内部清掃、ケーブル交換等）
10. お客様自身で行った調整や修理作業が原因で生じた破損事故や故障
11. その他、メーカーの判断により保証外とみなされた場合

●運送費用

通常、修理品の持込等に要する費用は全てお客様のご負担となります。但し、事前に確認のとれた初期不良ならびに保証範囲内での修理の場合は、佐川急便に限り着払いを受け付けます（下記RA番号が必要です）。沖縄などの離島の場合は、着払いでの受付は行っておりません。送料はお客様のご負担にて、どこの運送会社からでも結構ですので発送願います。

●RA番号（返品承認番号）

初期不良または保証内の修理における着払いでの運送については、サポート担当より通知されるRA番号が必要です。ご返送される場合は、必ずRA番号を送り状シールに明記してください。RA番号が無いものについては、佐川急便以外の運送会社での着払いは一切お受けできませんのでご了承ください（お客様のご負担の場合はどの便でも結構です）。

●注意事項

サウンドハウス保証は日本国内のみにおいて有効です。また、いかなる場合においても商品の仕様、及び故障から生じる損害（周辺機器の損害、事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失、又はその他の金銭的損害）に関してサウンドハウスは一切の責任を負いません。